F SPORT PARTS

MS344−24004/5/6
サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はF SPORT PARTSサイドスカートをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	型 式	年 式	備 考
MS344-24004-A1	ﾎﾜｲﾄﾉｰｳﾞｧｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ(083)	RC350 RC300 RC300h	GSC10 ASC10 AVC10	'18.10～	
MS344-24004-C0	ﾌﾞﾗｯｸ（212）				
MS344-24004-C2	ｸﾞﾗﾌｧｲﾄﾌﾞﾗｯｸｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ（223）				
MS344-24005-NP	未塗装品（プライマー処理品）				
MS344-24006	共通品（212）				

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。https://www.trdparts.jp/

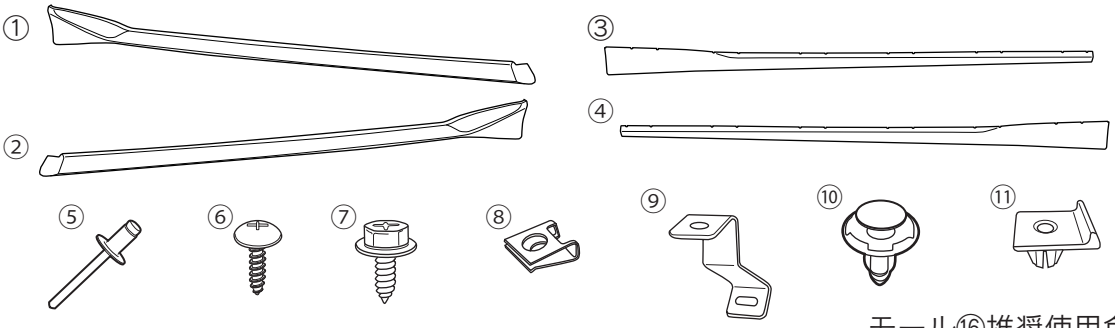
■ 構成部品

No.	部品名	品番	数量	備考
①	サイドスカート　RH		1	
②	サイドスカート　LH		1	
③	穴あけ治具　RH		1	
④	穴あけ治具　LH		1	
⑤	リベット		28	予備2個含む
⑥	タッピングスクリューA		10	5×12
⑦	タッピングスクリューB		6	6×16
⑧	Jナット		2	
⑨	ブラケット		2	
⑩	クリップ		2	
⑪	グロメット		6	
⑫	ブラックアウトフィルムAR		1	
⑬	ブラックアウトフィルムAL		1	
⑭	ブラックアウトフィルムB		1	20×130

以下、MS344-24005-NP（未塗装品セット）のみに同梱

No.	部品名	品番	数量	備考
⑮	PACプライマーK-500		1	青袋
⑯	モール		各2	黒 / グレー　L＝2200

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

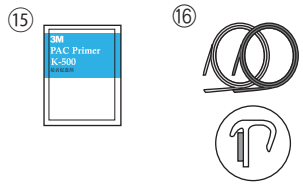




モール⑯推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色
ｿﾆｯｸｸｫｰﾂ（085）	ｸﾞﾚｰ
ﾏｰｷｭﾘｰｸﾞﾚｰﾒﾀﾘｯｸ（1H9）	ﾌﾞﾗｯｸ
ｿﾆｯｸﾁﾀﾆｳﾑ（1J7）	ｸﾞﾚｰ
ｿﾆｯｸｸﾛﾑ（1L1）	ﾌﾞﾗｯｸ
ｿﾆｯｸｲﾘｼﾞｳﾑ（1L2）	ｸﾞﾚｰ
ﾁﾀﾆｳﾑｶｰﾊﾞｲﾄﾞｸﾞﾚｰ（1L8）	ｸﾞﾚｰ
ﾗﾃﾞｨｱﾝﾄﾚｯﾄﾞｺﾝﾄﾗｽﾄﾚｲﾔﾘﾝｸﾞ（3T5）	ﾌﾞﾗｯｸ
ﾗｳﾞｧｵﾚﾝｼﾞｸﾘｽﾀﾙｼｬｲﾝ（4W7）	ﾌﾞﾗｯｸ
ﾈｰﾌﾟﾙｽｲｴﾛｰｺﾝﾄﾗｽﾄﾚｲﾔﾘﾝｸﾞ（5C1）	ｸﾞﾚｰ
ﾋｰﾄﾌﾞﾙｰｺﾝﾄﾗｽﾄﾚｲﾔﾘﾝｸﾞ（8X1）	ﾌﾞﾗｯｸ
ｽﾊﾟｰｸﾘﾝｸﾞﾒﾃｵﾒﾀﾘｯｸ（8X9）	ﾌﾞﾗｯｸ
ｾﾚｽﾃｨｱﾙﾌﾞﾙｰｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ（8Y6）	ﾌﾞﾗｯｸ

以下、MS344-24005-NP（未塗装品セット）のみに同梱



取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠ 警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠ 注意	注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行っていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について　（別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール（IPA）を使用して上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は49N（5Kgf）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取付け24時間は、洗車や水（水拭き含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

１.表紙、適合表、構成部品表、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・１～２
２.取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３.目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図・・・・・・・・・・４
４.取付け要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５～１２
５.取付け完了後の点検、注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

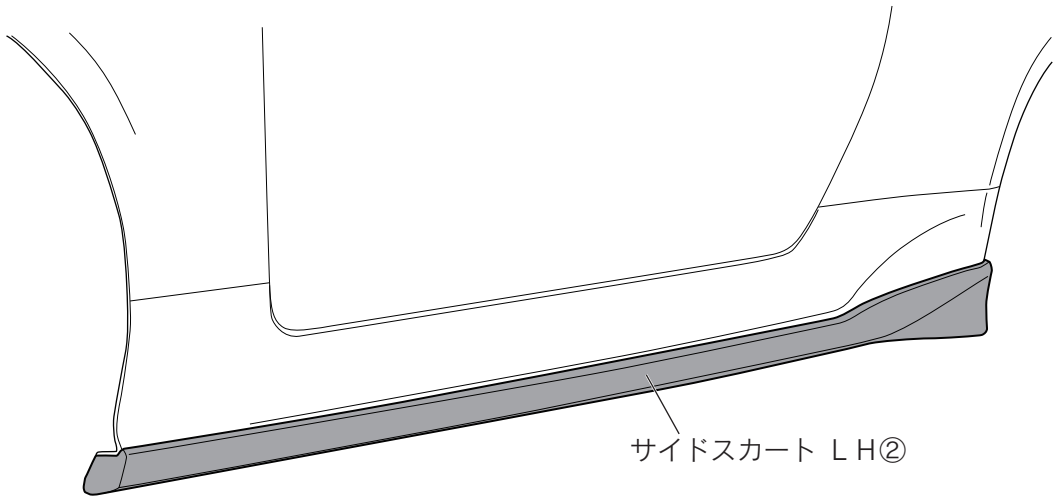
■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー
・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ケガキ針・ヤスリ・保護メガネ
・電動ドリル（刃：3.0mm/5.0mm/7.0mm/10.0mm）
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。
（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はＴＲＤパーツカタログサイト<https://www.trdparts.jp/>
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

※ＬＨ図示



塗装済み品の取付けは、６ページ【サイドスカート取付準備】に進み作業を行なってください。

■未塗装品の取扱いについて

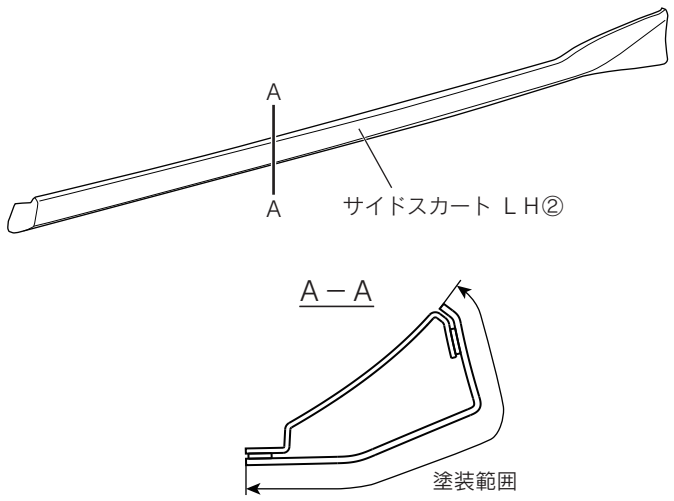
下記は未塗装品（MS341-24005-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨ側を示しており、ＲＨ側も同様に行ってください。

□フロントスポイラーの塗装

1．図１のようにサイドスカート①②を車両色で塗装する。

図１　※ＬＨ図示　左右共通作業



⚠注意 :乾燥温度を 70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

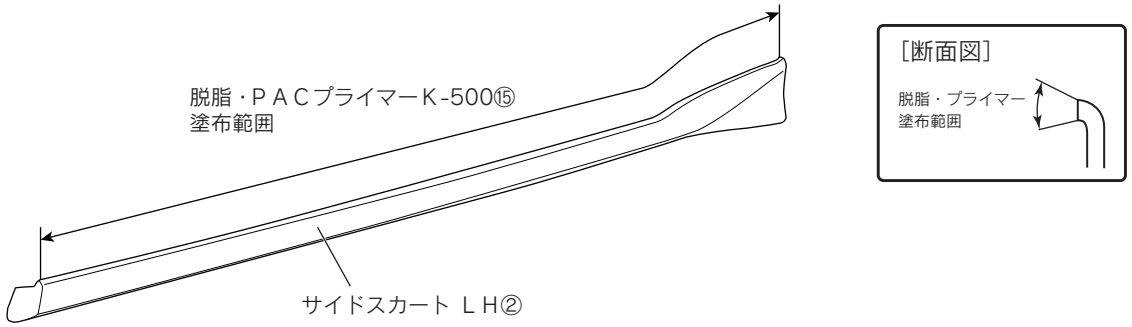
⚠警告 :モール貼付部には、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠注意 :脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下ＩＰＡという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

□モールの貼付け

1．図２のようにサイドスカート ＬH②のモール⑯貼付け部の汚れを取除き、ＩＰＡ又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみＰＡＣプライマーＫ-500⑮を塗布する。

図２　※ＬＨ図示　左右共通作業



⚠注意 :プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやＩＰＡ等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

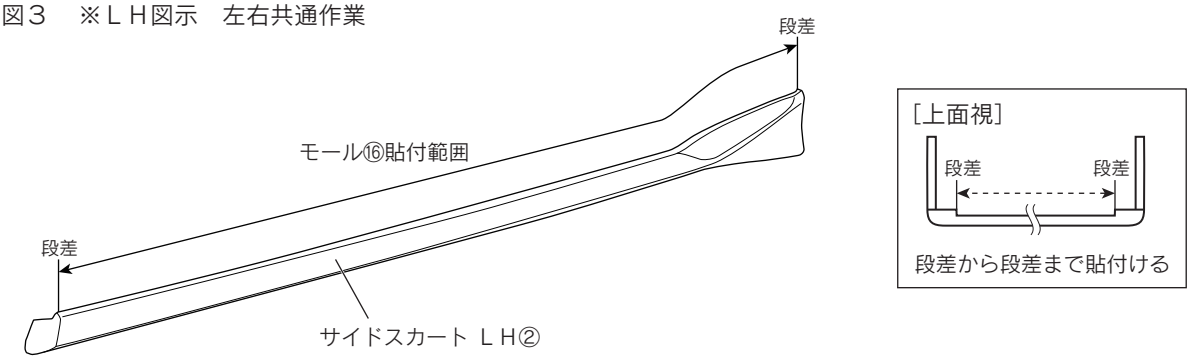
アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

2．図３のようにサイドスカート ＬＨ②にモール⑯の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

⚠注意 :モール⑯は、二色同梱されています。塗装色に合わせてモール色を選択し貼付けてください。

⚠注意 :両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約４０℃程度に温めてください。

図３　※ＬＨ図示　左右共通作業



※本取付・取扱要領書は、主にＬＨ側を示しており、ＲＨ側も同様に行ってください。

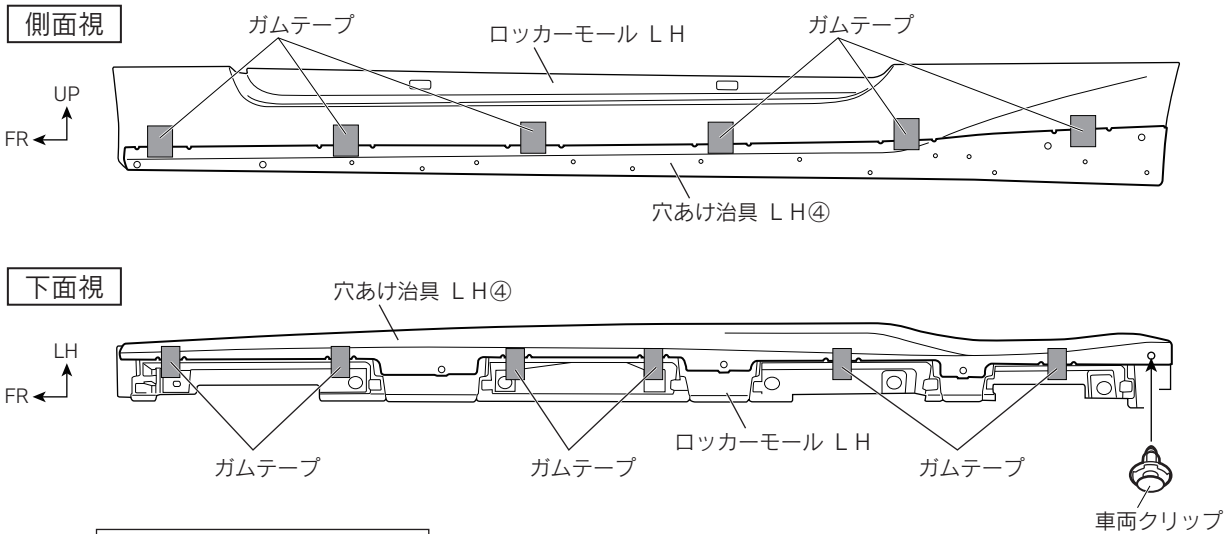
□サイドスカート取付準備

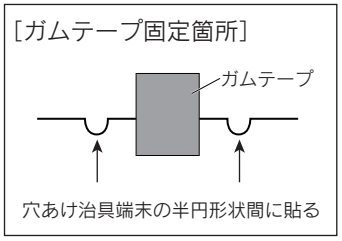
1．該当車両の修理書に従い、車両からロッカーモールを取外す。（左右各１箇所）
※ハイブリッド車の場合は、ハイブリッドエンブレムも取外す。（左右各１箇所）

⚠注意 :取り外した車両部品、車両スクリュー、車両クリップ等は再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

2．図４のようにロッカーモールに穴あけ治具 ＬＨ④をあて、下面後方を車両クリップで固定し、図示位置にガムテープ等を貼り、仮固定する。

図４　※ＬＨ図示　左右共通作業

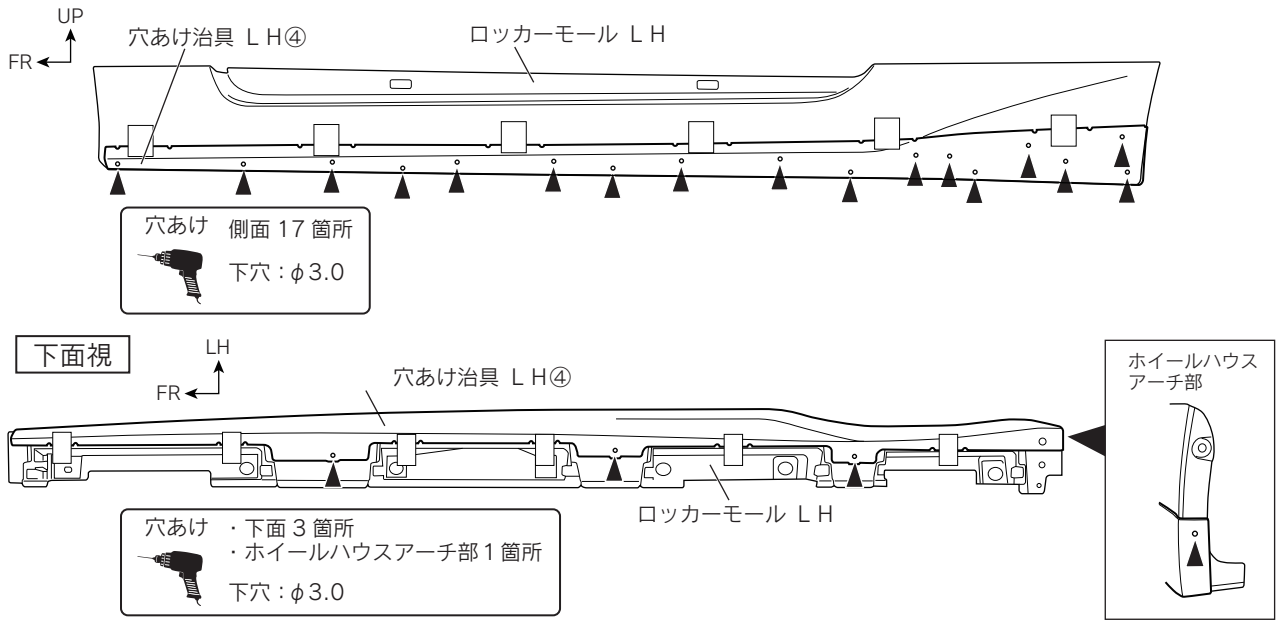




アドバイス：ロッカーモール形状に合わせて穴あけ治具を押し付けて位置決めしてください。

3．図5のように穴あけ治具 ＬＨ④の穴位置に合わせてφ3.0 の下穴をあける。（左右各 21 箇所）

図5 側面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



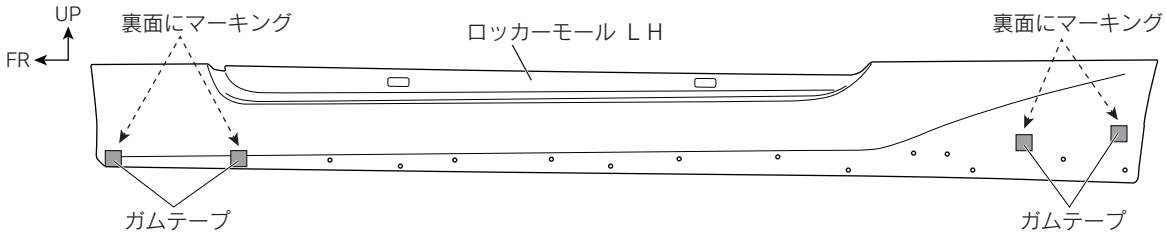
アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

4．穴あけ治具 ＬＨ④を取外す。

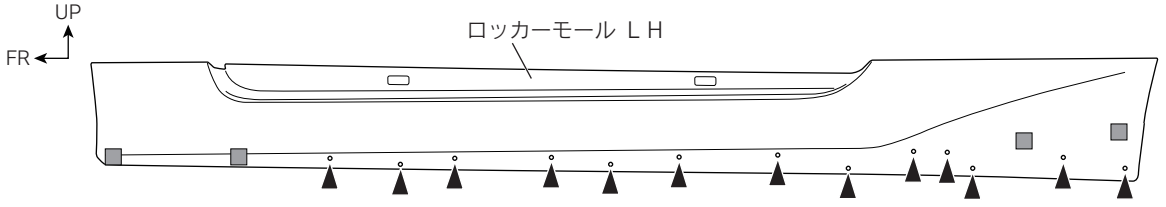
5．図6のようにロッカーモール側面の図示φ3.0 下穴に誤作業防止のため、ガムテープ等を貼り穴を塞ぐ。また、ロッカーモール裏面の穴位置を白ペン等でマーキングする。（左右各４箇所）

図6 側面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



6．図7のようにロッカーモール側面のφ3.0 穴をφ5.0（本穴）に拡張する。（左右各 13 箇所）

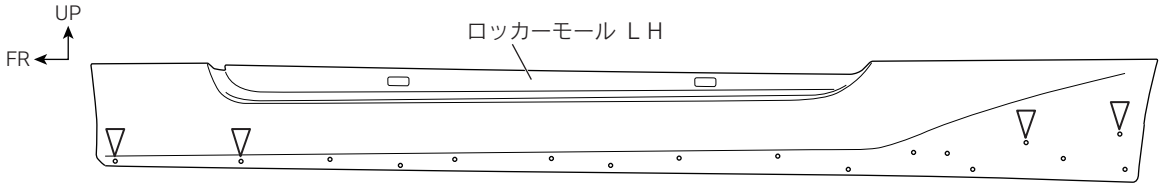
図7 側面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



⚠注意：誤った穴径であけてしまうと製品が固定出来なくなります。穴位置、穴径は必ず確認してください。

7．図８のようにロッカーモール側面の誤作業防止ガムテープを剥がし、φ3.0 穴をφ7.0（本穴）に拡張する。（左右各４箇所）

図８ 側面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



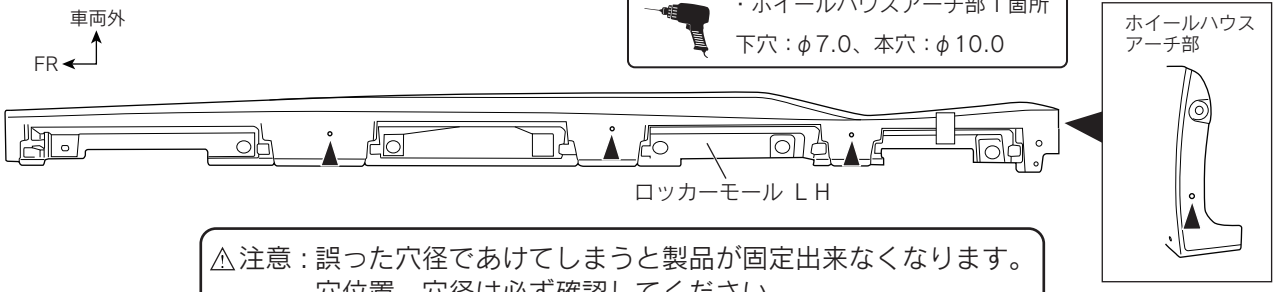
穴あけ　側面４箇所
本穴：φ7.0

⚠注意：誤った穴径であけてしまうと製品が固定出来なくなります。
穴位置、穴径は必ず確認してください。

8．図９のようにロッカーモール下面およびホイールハウスアーチ部のφ3.0 穴をφ7.0→φ10.0（本穴）に拡張する。（左右各４箇所）

図９ 下面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業

穴あけ　・下面３箇所
・ホイールハウスアーチ部１箇所
下穴：φ7.0、本穴：φ10.0



⚠注意：誤った穴径であけてしまうと製品が固定出来なくなります。
穴位置、穴径は必ず確認してください。

9．穴周囲のバリを除去する。
・左右各 21 箇所　（φ5：13 箇所、φ7：４箇所、φ10：４箇所）

⚠注意：バリを取除く時には、穴径が大きくならないように注意してヤスリ等で取除いてください。

10. 図 10 のようにロッカーモール下面のφ10 穴にグロメット⑪を取付ける。（左右各３箇所）

図 10 下面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業

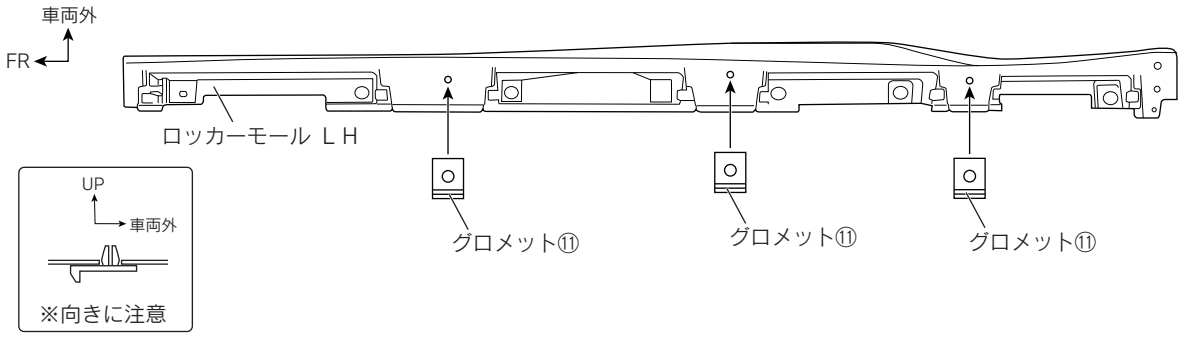
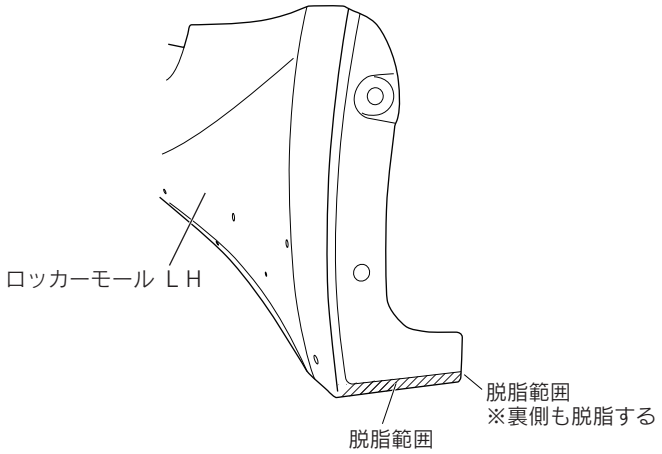


図 11 ※ＬＨ図示　左右共通作業



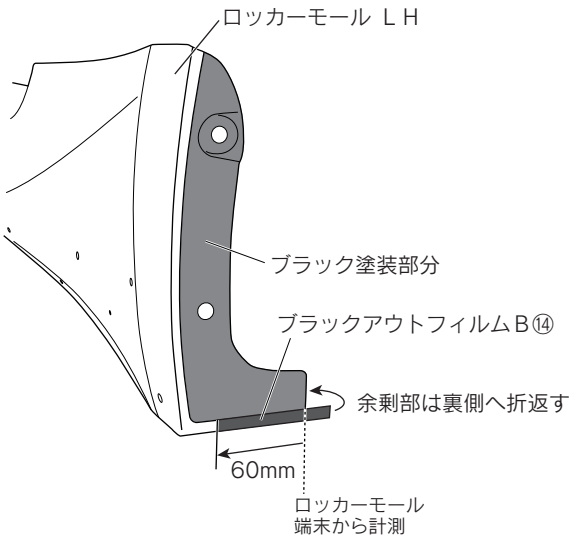
11. 図 11 のようにロッカーモールのリヤホイールハウスアーチ部下端の汚れを取除き、ＩＰＡ又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。（左右各１箇所）

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：アーチ部下端裏側も脱脂してください。

アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図 12 ※ＬＨ図示　左右共通作業



12. 図 12 のようにロッカーモールのリヤホイールハウスアーチ部下端にブラックアウトフィルムＢ⑭を半分にカットして貼付ける。（左右各１箇所）

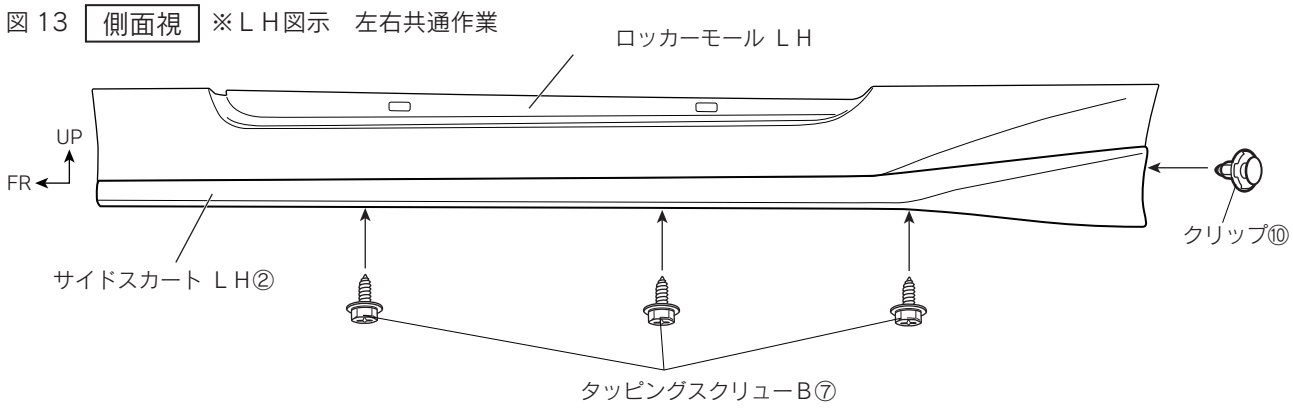
アドバイス：余った部分はカットせずに裏側に折返してください。

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨ側を示しており、ＲＨ側も同様に行ってください。

□サイドスカート取付要領

1．図 13 のようにロッカーモールにサイドスカート LH②をかぶせ、下面をタッピングスクリューＢ⑦（左右各３箇所）で仮締めし、リヤホイールハウスアーチ部をクリップ⑩（左右各１箇所）で固定する。

図 13 側面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



2．図 14 のようにロッカーモール裏側からリベット⑤(左右各 13 箇所）を仮差しし、タッピングスクリューA⑥(左右各４箇所）を仮締めする。

図 14 裏面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業

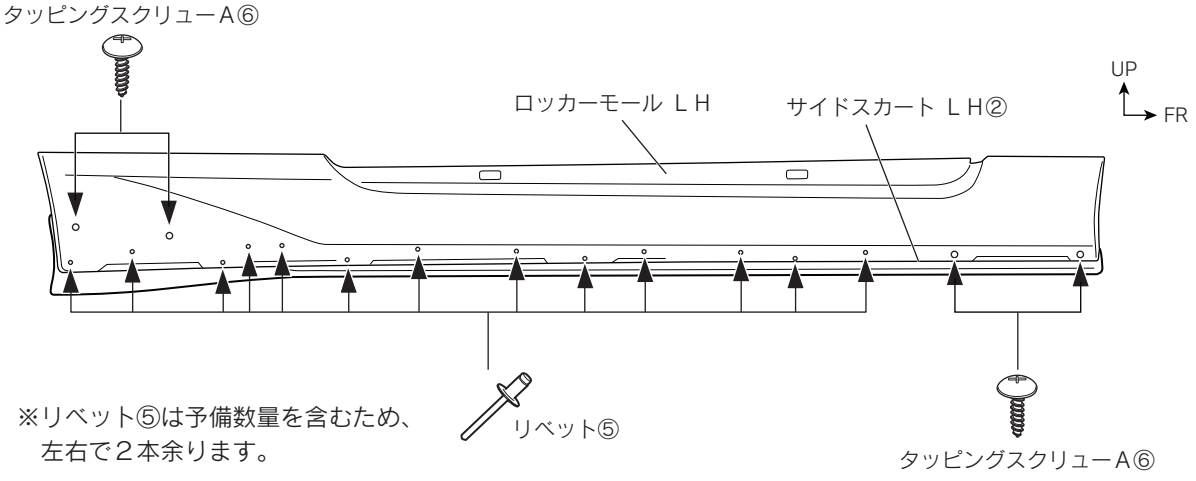
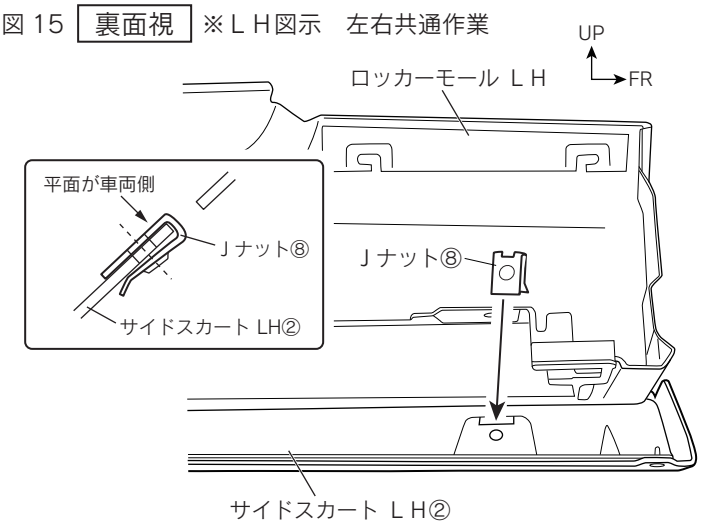
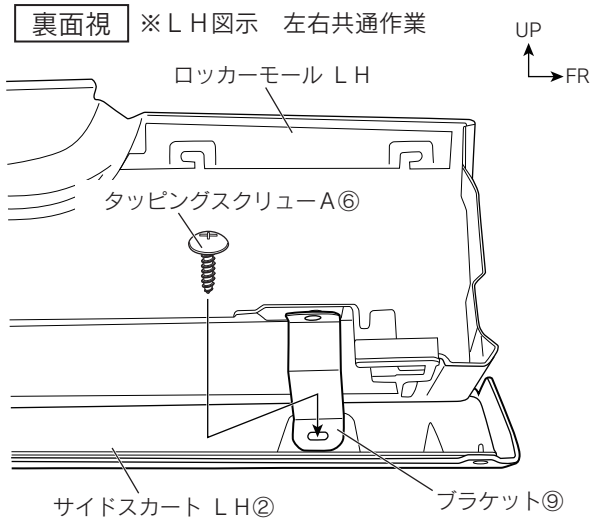


図 15 裏面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



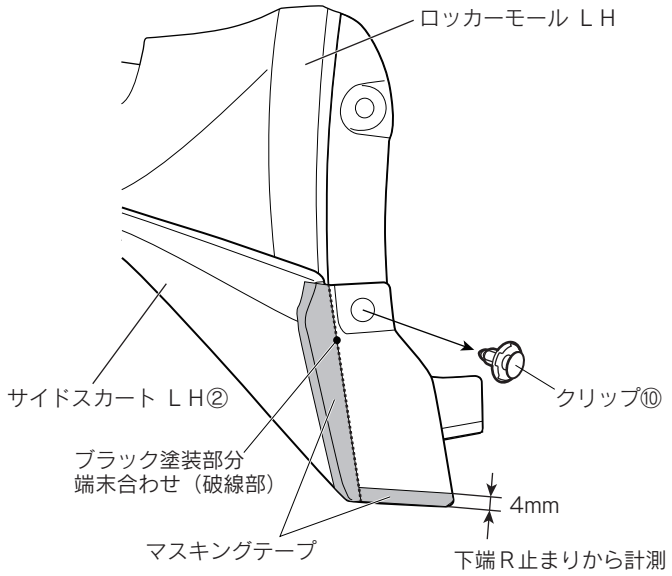
3．図 15 のようにサイドスカート ＬH②前方裏側にＪナット⑧を取付ける。
（左右各１箇所）

図 16 裏面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



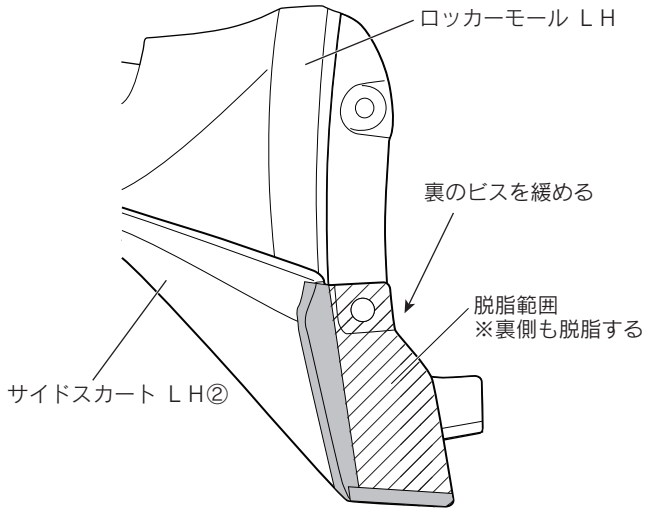
4．図 16 のようにサイドスカート ＬH②前方裏側にブラケット⑨をタッピングスクリューA⑥で仮締めする。
（左右各１箇所）

図 17 ※ＬＨ図示　左右共通作業



5．図 17 のようにサイドスカート ＬＨ②のリヤホイールハウスアーチ部にマスキングテープを貼り、クリップ⑩を取外す。

図 18 ※ＬＨ図示　左右共通作業



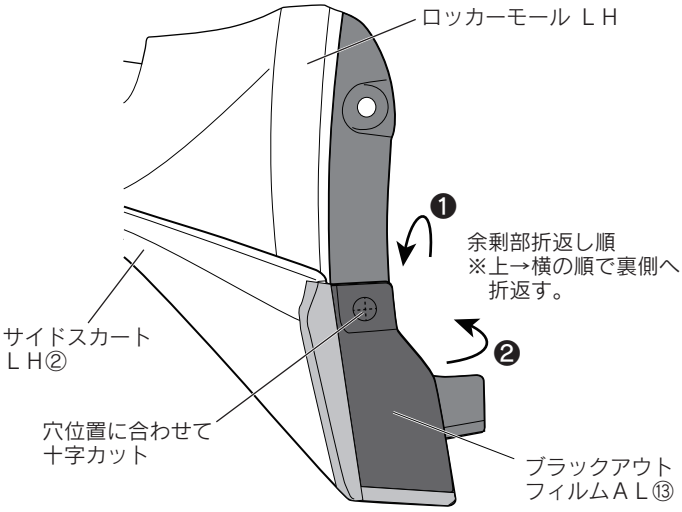
6．図 18 のようにサイドスカート ＬＨ②のリヤホイールハウスアーチ部をＩＰＡ又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

アドバイス：後方裏側の仮締めしていたタッピングスクリュー Ａをサイドスカート ＬＨが浮く程度緩め、アーチ部裏側も脱脂してください。

図 19 ※ＬＨ図示　左右共通作業



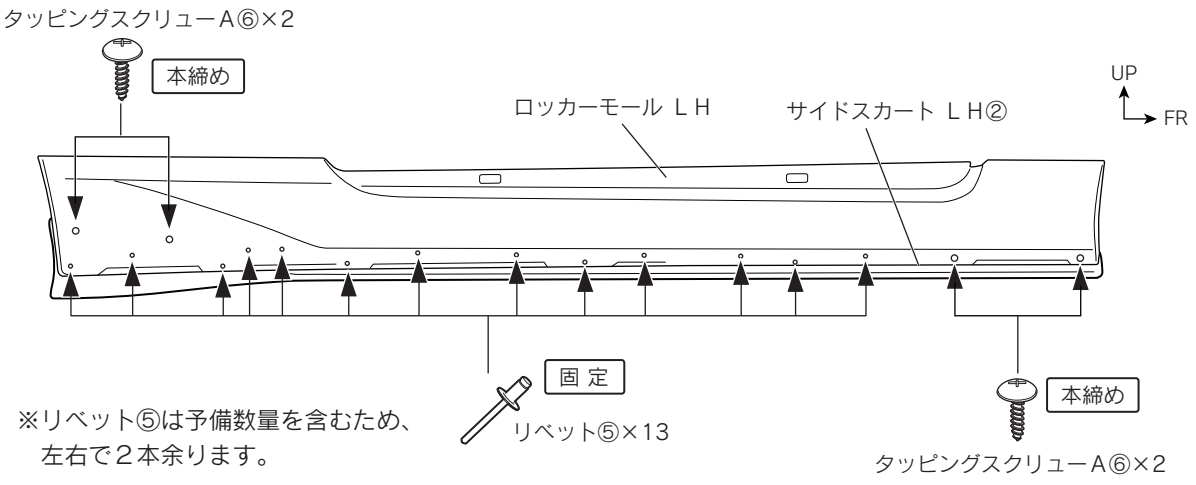
7．図 19 のようにサイドスカート ＬＨ②のリヤホイールハウスアーチ部にブラックアウトフィルムＡＬ⑬をマスキングテープ端末に合わせて貼付ける。

アドバイス：余った部分はカットせずに裏側に折返してください。

8．マスキングテープを剥がす。

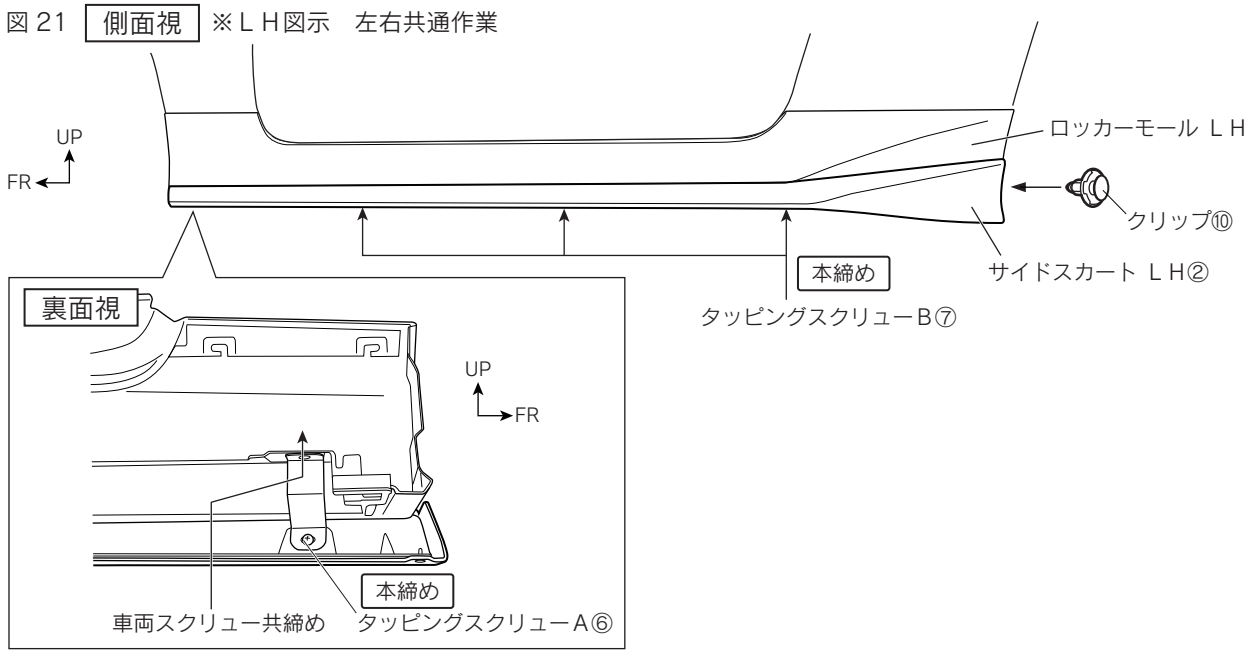
9．図 20 のようにサイドスカート ＬＨ②をロッカーモールの形状に合わせて押し付け位置決めし、仮差ししたリベット⑤（左右各 13 箇所）を固定し、タッピングスクリューＡ⑥（左右各４箇所）を本締めする。

図 20　裏面視　※ＬＨ図示　左右共通作業



10. 図 21 のようにロッカーモールを車両に取付け、サイドスカート ＬＨ②前方裏側のブラケット⑨取付け部のタッピングスクリュー Ａ⑥（左右各 1 箇所）、下面取付け部のタッピングスクリュー Ｂ⑦（左右各 3 箇所）を本締めし、リヤホイールハウスアーチ部をクリップ⑩（左右各 1 箇所）で固定する。

図 21　側面視　※ＬＨ図示　左右共通作業



■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
ＴＲＤ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
https://www.trdparts.jp/

脱脂作業要領書

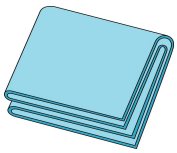
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

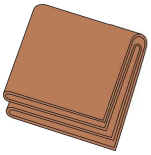
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

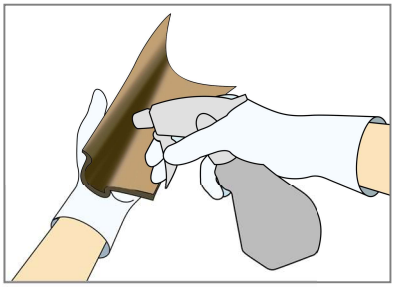

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

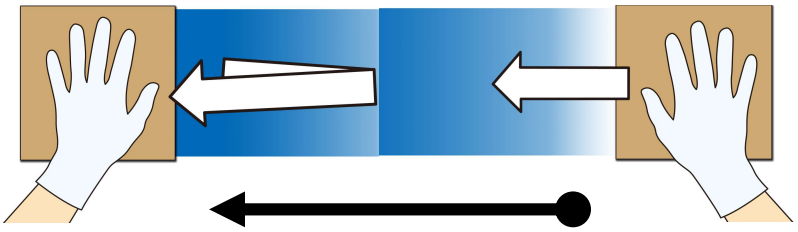


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

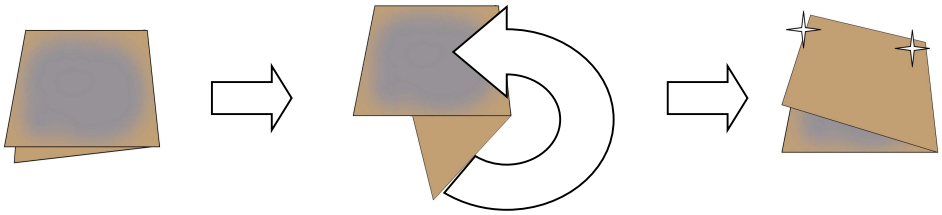
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。